

伊勢崎第九 第35回記念演奏会

未来へ響く、歓喜のシンフォニー

ヴェルディ／歌劇《ナブッコ》から
「行け、我が思いよ、黄金の翼にのって」
ベートーヴェン／交響曲第9番 二短調「合唱付」

指揮
横山 揮奏
Kanade YOKOYAMA
©平館平



令和8年 12月20日(日)

開演 14:00 開場 13:20

メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎
(伊勢崎市文化会館) 大ホール



管弦楽：群馬交響楽団
合唱：伊勢崎第九を歌う会
※写真は昨年のものです

指 定 席 4,500円(ときめきくらぶ会員4,300円)
一 般 自 由 席 3,500円(ときめきくらぶ会員3,300円)
高校生以下自由席 500円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

プレイガイド

メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎(伊勢崎市文化会館)
人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター
赤堀芸術文化プラザ

TEL.0270-23-6070
TEL.0270-76-2222
TEL.0270-63-1200

- 9月17日(木) 9:00からときめきくらぶ会員電話予約(TEL.0270-23-6070) (メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎のみで受付。／席の列番の指定はできません。)
- 9月20日(日) 9:00から一般窓口販売(お電話の方は13:00より)
*指定席(10列～15列目の12番～47番)は、メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎のみでの販売です。

会員募集中

伊勢崎第九を歌う会
公式 facebook

<https://ja-jp.facebook.com/isesakidai9>



●主 催：公益財団法人伊勢崎市公共施設管理公社

●お問い合わせ：メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎(伊勢崎市文化会館) TEL.0270-23-6070

●伊勢崎市委託文化事業

～ 出演者プロフィール ～



横山 奏 Kanade YOKOYAMA 指揮 Conductor

1984年札幌生まれ。高校生の時に吹奏楽部に入部して打楽器を担当。北海道教育大学札幌校で声楽を学ぶが、一念発起し指揮者を目指す。桐朋学園大学、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。ダグラス・ボストック、尾高忠明、高関健、中村隆夫、黒岩英臣の各氏に指揮法を師事。2018年「第18回東京国際指揮者コンクール」にて第2位&聴衆賞を受賞。札幌、仙台フィル、山響、群響、N響、都響、読響、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東京シティフィル、神奈川フィル、名古屋フィル、アンサンブル金沢、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、広響、九響などと共演を重ねている。2015-2017年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員を務めた。趣味は登山。NHKラジオ「石丸謙二郎の山カフェ」にシーズンゲストとして最多登場、登山とクラシック音楽の関連エピソードを紹介し人気を博している。東京音楽大学吹奏楽アカデミー特任准教授を務める。

木和田 絢香 Ayaka KIWADA ソプラノ Soprano



東京藝術大学、及び同大学院修士課程音楽研究科声楽専攻修了。サントリーホール オペラ・アカデミー アドバンストコース第4期生修了後、2021年よりイタリアに留学、パルマ音楽院声楽科修了。プッチーニ・アカデミー、オジモ・オペラ芸術アカデミーなどで研鑽を積む。

第57回日伊声楽コンクールソ入選、第4回 Piero Cappuccilli 国際コンクール第3位、第10回 Voci In-Canto 国際コンクール第2位。

2021年NPO法人芸術・文化若い芽を育てる会より奨励賞・音楽賞を受賞。2022年第68回

プッチーニ フェスティバル「トゥーランドット」侍女役、リュウ役 アンダースタディ、同フェスティバル「つばめ」ピアンカ役を務める。これまでに声楽を浦畑博美、菅英三子、三縄みどり、櫻田亮、Giuseppe Sabbatini、Francesca Ziveri、Eva Meiの各氏に師事。

林 眞暎 Mae HAYASHI アルト Alto



横浜市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。アカンサス音楽賞、同声会賞受賞。ブッセート・ヴェルディ 歌劇場、ピアチェンツァ市立歌劇場、サントリーホールでのオペラ・プロジェクトに参加。2023年 井上道義 指揮、読売日本交響楽団（マラー 2 番「復活」）新日本フィルハーモニー交響楽団（マラー 3 番）、2024年 佐渡裕 指揮 新日本ハーモニー交響楽団（ベートーヴェン「第九」）、2026年尾高忠明 指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団（エルガー「海の絵」）に抜擢

される。メゾ・ソプラノのみならず、世界でも数少ないコントラルト歌手として活躍し、バロックからロマン派まで幅広いレパートリーを得意とする。令和元年度文化庁新進芸術家海外研修員、BCJ 声楽メンバー。

角田 和弘 Kazuhiro TSUNODA テノール Tenor



国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。1986年 DAAD 給費留学生としてミュンヘン国立音楽大学留学。89年文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてミラノに留学。

第16回イタリア声楽コンクール・ミラノ大賞受賞。コセンツァ・パタフライ・コンクール第2位。88年「ラ・トラヴィアータ」のアルフレードで藤原歌劇団デビュー。その後「蝶々夫人」「道化師」「カルメン」などに出演。第16回国民文化祭・ぐんま 2001「みづち」の総合アドバイザーを務める傍ら小太郎を演

じ、04年新国立劇場での再演にも出演。その他、日生劇場「ヘンゼルとグレーテル」の魔女をはじめ、様々な公演で絶賛を博す。第3回上毛音楽賞受賞。群馬オペラ協会代表理事。群馬県出身。

大山 大輔 Daisuke OHYAMA バリトン Baritone



東京藝術大学首席卒業。同大学院修了。井上道義×野田秀樹《フィガロの結婚》フィガロ、佐渡裕指揮《メリー・ウィドウ》ダニロ、手塚治虫原作／宮川彬良作曲 歌劇《ブラック・ジャック》タイトルロールなど独自性の強い作品で主役として圧倒的存在感を示す。劇団四季《オペラ座の怪人》に怪人役で客演。2023年初演オペラ版、及び2026年9月初演ミュージカル版《アニー》の台本執筆・演出を務める。2026年2月スコティッシュ・オペラによって初演の《The Great Wave》

で主役・葛飾北斎役を務める。洗足学園音楽大学ミュージカル・声楽コース講師。自身の多彩な経験をシェアする《実践！オペラ道場》を各地で主催。

群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通した復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2024年度までに延べ653万人を超える児童・生徒が鑑賞した。1994年に「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現。

群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。また2019年9月開館の「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、飯森範親常任指揮者のもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。定期演奏会は2024年7月に第600回に達し、2025年に創立80周年を迎えた。

伊勢崎第九を歌う会

平成元年に結成された合唱団で、毎年12月に歓喜の歌を高らかに歌い多大なる評価をいただいている。また、12月の第九演奏会の他には、5月のスプリングコンサート、11月には市民音楽祭への参加と幅広く活動している。

令和2年、3年とコロナ禍の2年間は、歌うことそのものが出来なかったが、現在はコロナ以前の活動に徐々に戻ってきており、日々の練習に励むことは勿論、中断となっている福祉施設等への慰問演奏を復活させ、地域に貢献できるように務めたい所存である。